

沼津市立長井崎小中一貫学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月19日(木)

沼津市立長井崎小中一貫学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

須恵器は綺麗で両面とも同じ色で、弥生や縄文のやつは色が前面と後面で色が違いました。
縄文⇒弥生⇒須恵器・・という順番で、分厚かったりザラザラしていました。時代ごとの土器の特徴の違いに驚きました。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

小さな黒曜石でもすごく切れるという事がわかった。昔の人はこんなに切れるのを使っていたのかと思いました。生活に絶対に必要なものだから、黒曜石を手に入れるのも必死だったのかなと思いました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

昔の人達は、まいぎり式の方法などで火を起こしをしました。短時間で火が起こせて、すごい便利でこの道具を考えた人恐るべし。同じように火おこしをしてみても、楽しかったけどとても大変で体力が必要でした。



<先生方の感想>

さすが、本物(実物)の力です。子供たちが、土器や石器を目の前に手に触れながら、その色や厚み、黒曜石の輝きを感じながら、昔の人の生活に思いを馳せている姿に本物の学びの姿を重ねることができました。

